

「未来をひらく」 チーム高島

未来をひらく基礎力「やさしく・かしこく・たくましく」 令和7年5月16日 No.4 校長 目野明弘



幸寿会とのグランド・ゴルフ

5月15日(木)の3・4時間目に、幸寿会の方6名をお招きして、グランド・ゴルフを行いました。児童は、上手になって嬉しかったり、うまくいなくてくやしかったりとグランド・ゴルフでいろいろな思いをもちながらも楽しみ、幸寿会の方と交流しました。

児童は、グランド・ゴルフ当日までに準備や計画を立て、当日は開会式、競技準備や閉会式の運営を一人ひとりがよく頑張っている姿にとても嬉しくなりました。

グランド・ゴルフのあとは幸寿会の方と一緒に給食を食べ交流しました。



弁護士によるいじめ防止講座（やさしく）

5月9日(金)に唐津市弁護士会の 弁護士を講師にお招きし、いじめ防止教室を行いました。子どもたちは考えたことを発表しながら、しっかりと話を聞き学んでいました。お話の内容は次のようなことでした。



- 「いじめとは、相手が嫌だということである。」
- 「相手が『嫌』と言わない場合も言えないだけだったり、笑っていても心の中で嫌がっていたりすることがある。」
- 「(相手が悪いことをしたので) その子に嫌がらせやいじめをすることが正しいことと思ってしまういじめや嫌がらせをしてしまう場合があること。その場合、自分が相手に悪いことをしているという認識がないからひどいいじめをしてしまうことがある。」
- 「人の心をコップ、いやな事を水にたとえ、いやなことの水がコップにいっぱいにならないように、『想像力』をはたらかせることが大切」
- 「いじめは、やっている人がやらないことも大切だが、見ている人がどうするかが大切」

「想像力」

弁護士の方のお話の中に、「想像力」というキーワードがありました。“そう言ったら相手はどう思うのか。”“それをしたら相手はどう思うのか。”「想像力」をたくさんはたらかせること、そして、互いのよさやがんばりを見つけることが、お互いを大切にして気持ちよく生活できることにつながっていくと思います。



子どもたちの感想には、「もし(いじめを)受けている人、している人、見ている人にあつたら、今日の話をも勇気を出して言ってみようかなと思えました。」「私は、いじめをしないように、話すとき、少し自分の言葉で相手が傷つかないか立ち止まって考えてみようと思います。」など書いており、しっかりと考えることできていました。

不審者対応避難訓練

5月13日(火)に不審者対応避難訓練を行いました。職員玄関から不審者が刃物をもって入ってきたという想定で訓練を行いました。子どもたちはしっかりと話を聞き、避難することができました。



また、訓練のあとは、警察署の方からお話をしてもらいました。

子どもたちは「『イカのおすし』のお約束がわかりますか」と聞かれ、しっかり答えていました。



不審者の侵入などはないことが一番良いのですが、もし起こった時には、「イカのおすし」のお約束で、安全に避難してほしいと思います。

お知らせ

先日、東京都立川市の小学校で「2年生のクラスに不審者が入っている」などと110番があったというニュースが報道されました。この事案の後、様々な学校で避難訓練や不審者対応の検討がなされています。本校でも訓練を行い、その後、警察の方と不審者対応について職員研修を行いました。研修の中で、対策の第1として「不審者に侵入されないようにすること」「侵入されたら大きな声や笛で人を呼び(電話)で時間を稼ぐこと」を学び、確認しました。

このことを受け、通常は職員玄関と児童玄関を施錠し、来校された方にはチャイムを押していただいて対応することとしました。保護者の皆様には周知していただくとともに、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。